

令和3年度（小学校）出張出前授業を振り返って

1 令和3年度出前授業等の実績

学校名	題 材	実施日	人数	学級数
①幕張小学校3年	いも神様 青木昆陽	6/1	80名	3学級
②千城台わかば小学校4年	千葉市の台風被害	9/16	74名	3学級
③北貝塚小学校4年	水害と戦う染谷源右衛門	11/1・2	126名	4学級
④千城台わかば小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	11/9	70名	2学級
⑤白井小学校4年	水害と戦う染谷源右衛門	11/25	約25名	1学級
⑥幕張西小学校4年	水害と戦う染谷源右衛門	12/7・9	149名	5学級
⑦宮野木小学校年	道具によって変わった私たちの生活	12/6	99名	3学級
⑧稲毛第2小学校3年	道具によって変わった私たちの生活	1/18・20	110名	4学級
授業申込み回数8回		授業実施日数11日	授業人数733名	25学級

*なおコロナにより中止授業数は3回

2 出前授業等の実施後の分析

①申し込み学校地域

- 稲毛区1校 若葉区3校 美浜区3校（計7校）
- 来年度は申込み授業地域を広げていきたい。

②申し込み学年数の傾向

- ◆実施合計学年数 8学年（コロナ中止は3学年）
- ◆傾向・・・単学級1校 / 2学級学年1校 / 3学級学年3校 / 4学級学年2校 / 5学級学年1校

○児童数の多い3学級以上の学年から多く申し込しこんでいただいた。外部から講師を呼んで共通の体験を児童にしてほしいという学校の願いではないかと考えられる。

③出前授業実施時期

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1校	0	0	3校	0	3校	2校	1校	1校

○授業が本格化する9月以降の申し込みをしていただくことが多かった。学校行事との関係もあると考えられる。

④実施授業学級数と授業日数

- ◆累積出前授業学級数は25回、授業日数は11日間
- 今年度は学級数が多い学年でも、複数学級での合同授業は行わずに通常授業と同じようにすべて学級毎の授業を行った。その結果、授業数は多くなったが、児童は落ち着いて学習に取り組むことができたのではないかと思う。

⑤授業参加児童数

◆参加児童数 743名

○本年度は、中規模から大規模学校の約1校分に当たる児童数に授業をさせていただいた。多くの児童に歴史学習や社会科学学習の楽しさを味わってもらうことができたのではないかと思う。

⑥例示している授業題材名と実施授業数や参加児童の関係

題材名	申込学校数	授業学級数	参加児童
①わたしの学校（地理）	0	0	0
②千葉市の埋め立て（歴史）	0	0	0
③昔の道具（歴史）	3	9	289
④千葉市台風被害（歴史）	1	3	74
⑤染谷源右衛門（人物）	3	10	300
⑥伊能忠敬（人物）	0	0	0
⑦青木昆陽（人物）	1	3	80
⑧千葉常胤（人物）	0	0	0
⑨市制100年私の学校（歴史）	0	0	0

⑦授業題材ごとの分析

- 参加児童数743名の傾向から見ると、4年「染谷源右衛門」の授業が全体の40%を占めていた。次に多いのが3年「昔の道具」の授業で39%だった。
- 3年「昔の道具」の授業への現場の要望は『郷土博物館には昔の道具がたくさんあるだろうから、それを持ってきて見せてほしい』という依頼だった。実際に道具を持ち込み授業した結果、児童の興味関心は大いに高まり、児童にも教師にもかなり好評だった。来年度以降は持ち込む古い道具を変更して、新しい授業展開をしていきたい。
- 4年「染谷源右衛門」の題材は、小学校の人物学習の題材として一番馴染みがある学習なので、多くの申し込みをしていただいた。
- 4年「千葉市の台風被害」の題材では、令和元年度の千葉市の台風被害を取り上げた。児童により身近な題材で学習をしたので、児童の理解は高まった。
- 来年度は、発表している9つの題材に新しい内容を追加しながら、より千葉市の歴史や地理を身近に感じてもらいたいと考えている。

3 授業の事前授業準備と学校での打合せ

- 申し込んでいただいた学校の負担をなるべく減らすために、指導案やその資料は授業者がほとんど作った。事前打ち合わせでその内容を提示して、先生方と当日どのような授業展開をするのかという共通理解を深めることができた。
- 各学校では丁寧に應對していただき、機器準備や場所の確保等の多くの協力をしていただいた。各学校の協力を感謝申し上げたい。
- 体験活動を多く設定した授業では時間が多くかかることもあるので、事前打ち合わせでよく相談して、当日の日程も検討してもらうようにしていきたい。

4 エディューケーターとして

- 「昔の道具」の授業では、体験学習を多く含む授業構成だった。児童の興味関心は高まったので、来年度も学校ではなかなか準備できないような館内の利用可能な収蔵品を活用して、体験的な学習を多く取り入れていきたい。

- 今年度の出前授業では、児童に千葉市の歴史や地理をより身近なものとして感じてもらえる様々な授業場面を多く見ることができた。当館の出前授業の役割として、来年度以降も千葉市の歴史や文化をより身近に感じていただく工夫を重ねていきたい。
- 授業後に児童から、「また、授業しに来てください。」「考えるのが楽しかった」「初めて詳しく知ることができて驚いた。」等の感想を多くいただきました。この期待に応えるために来年度は新たなプログラムも追加して、3年から6年までの全て学年に題材を準備して、より楽しい学習を展開していきたい。

5 授業後の児童の感想（部分・略）例

<以下 担任の教師>

- 教師 1・・・貴重な収蔵品を多く見せていただき、子供達も今と昔の違いに興味を持つことができました。子供たちにとってとても貴重な体験でした。また、私達教員にも貴重な数多くの資料を用意していただき、本当にありがとうございました。
- 教師 2・・・わかりやすく説明いただき、子供たちはとてもよく理解できました。さっそく郷土博物館に行ってみた子供もいて、子供たちはやる気いっぱいです。
- 教師 3・・・市の指導計画に沿って授業してくださり、私たち担任もその後の授業がとてもやり易かったです。今日の学習を今後の授業に生かして行きたいと思います。

<以下 児童>

いも神様 青木昆陽

- 特にびっくりしたのが**まくはり**の名前が、昔は**まくわり**ということです。300年前のことがいろいろ知れてよかったです。またきてください。

昔の道具

- 昔の不便をくりかえすことで、今の便利があることがよくわかりました。また、授業しにきてください。
- 楽しかったのは、実物を自分の手でさわったことです。行灯の光を暗い中で見ると、オレンジ色でとてもきれいでした。
- 道具を見ると、人間はどんどんかしこくなっているのすごいと思う。昔の人が、蛍光灯を発明していなかったら、とても困っていたと思う。

千葉市の台風被害

- 私は社会科がすこし苦手でしたが、社会科が好きになりました。
- 自分でもハザードマップを見ようと思った。役に立ってよかった、家族に伝えようと思う。

水害と戦う染谷源右衛門

- 立体の印旛沼地図に水を流す実験が、とてもわかりやすく楽しかった。印旛沼の歴史を誰かに教えてあげたいくらい、楽しく学べました。
- 源右衛門さんが村の人のために、あきらめずに工事を進める姿がすごいと思った。
- 自分が生まれる前に水害を解決してくれたことに感謝したいです。ぼくもいつか、源右衛門さんみたいな他の人のことを思って努力するような人になりたいです。